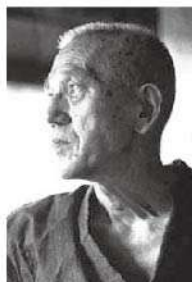


有松まちなみ美術館・展示内容のご案内

片野元彦の世界展

竹田家（書院・三番蔵）
3/2～5



藍染め絞りの第一人者
片野元彦氏

明治 32 年名古屋に生まれ、21 歳の時、画家の岸田劉生に師事。昭和 31 年、柳宗悦より藍染め絞りの再興を示唆され、絞りの世界を志しました。57 歳で絞り染めをはじめた、片野元彦は、75 歳で生涯を閉じるまで、絞りの研究・制作に捧げてきました。

彼が生み出した「片野絞り」という藍染の絞り技法は、絞り職人たちからも崇められています。そんな絞りの極致ともいべき品々が、「片野元彦の世界展」で一挙に公開されます。藍染絞りに捧げた人生。職人の手仕事から学ぶこと。片野元彦が手がけた一連の絞り染めを前に、ふと立ち止まり、向き合うきっかけを与えてくれる展示会です。

(入場料 / 500 円)



写真：片野元彦・かほり作品集 絞と藍より

日本の藍 筒描き展

旧山田薬局 3/2～5

筒描きとは、染色の糊置き法の一つで、紙または布製の円錐形の筒に糊を入れ、糊を絞り出して模様を描くものです。糊で描いた部分が防染されます。

元豊後藩御用達④紺屋藤田家より筒描き作品をお借りし、旧山田薬局・和室に展示しています。会期中は、大分より「藤田さん」が来名、説明して下さいます。(入場無料)

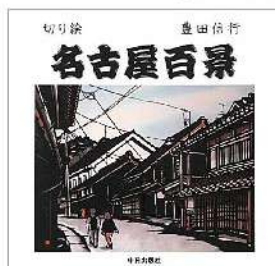


写真：『阿波藍』魅力発信展覧会（2021）より

豊田信行切り絵展 「有松の風景」

名古屋有松郵便局
3/2～24

切り絵「名古屋百景」を出版された切り絵作家「豊田信行さん」。作品集には、有松の風景も多数掲載され、作品の一点一点には解説・エピソードが添えられています。今回は、切り絵「有松の風景」を厳選して展示しています。(入場無料)



ガラス絞り

永井家
常設展示

有松駅には、有松絞りの紋様をモチーフにした浅浮彫のガラスが駅の装飾に用いられています。

永井家の建物前には、駅と同じ技法で作られた「ガラス絞り」が展示されています。



有松駅のガラス絞り

3/25 有松茶会のご案内

有楽流宗家・織田宗裕の茶会とお話

有松茶会

日時 / 2023 年 3 月 25 日 (土) 10:00～17:00

会場 / 竹田家茶室「栽松庵」・書院・三番蔵

席主 / 有楽流宗家 織田宗裕

募集人数 / 40 名限定 (先着順受付) (5 名 × 8 席)

会費 / 10,000 円 (点心付)

申込方法 / 申込用紙にご記入の上、FAX 又はメールでお申込みください。

申込締切 / 2023 年 3 月 11 日 (土)

申込先 / NPO 法人コンソーシアム有松

FAX 052-623-5105 mail:info@c-an.jp



茶室 / 栽松庵



竹田家

お話：織田宗裕先生

午前の部 / 11:10～11:40

午後の部 / 14:00～14:30

プロフィール

織田宗裕 (織田裕美子) 名古屋生まれ。南山大学外国学部卒業。織田信長の弟、織田有楽斎長益を祖とする大和芝村落 16 代当主。茶道有楽流宗家 家元。